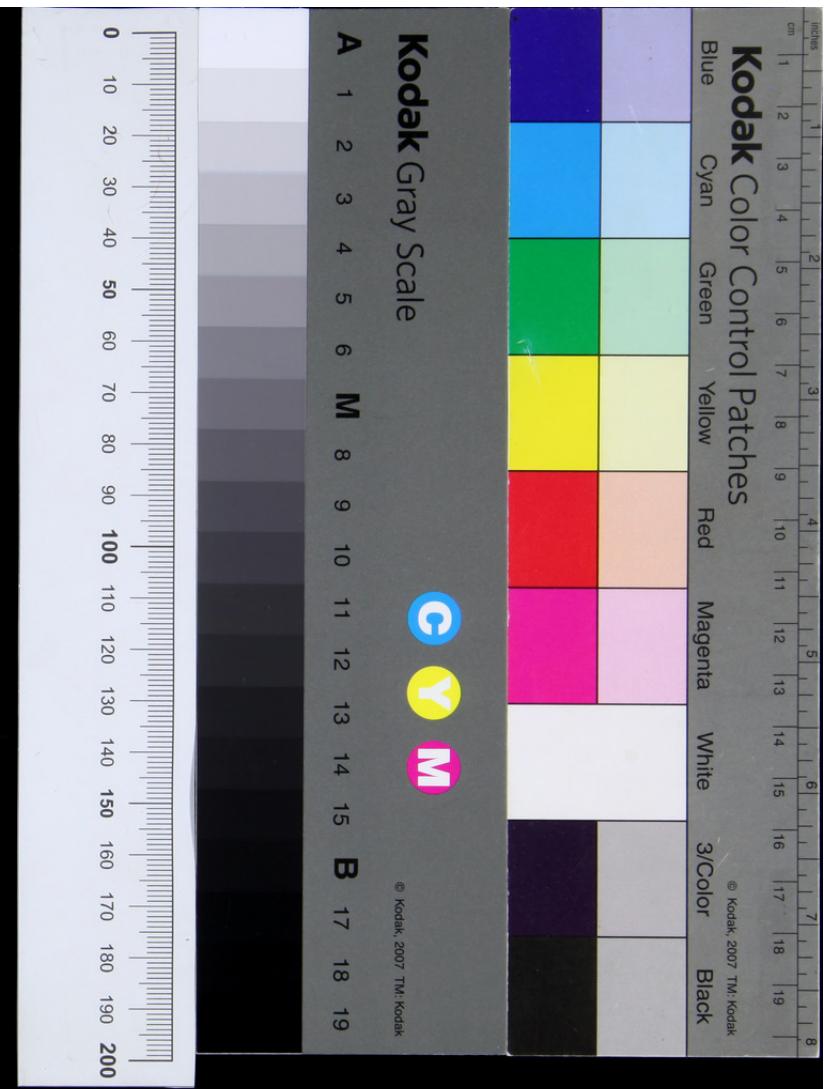
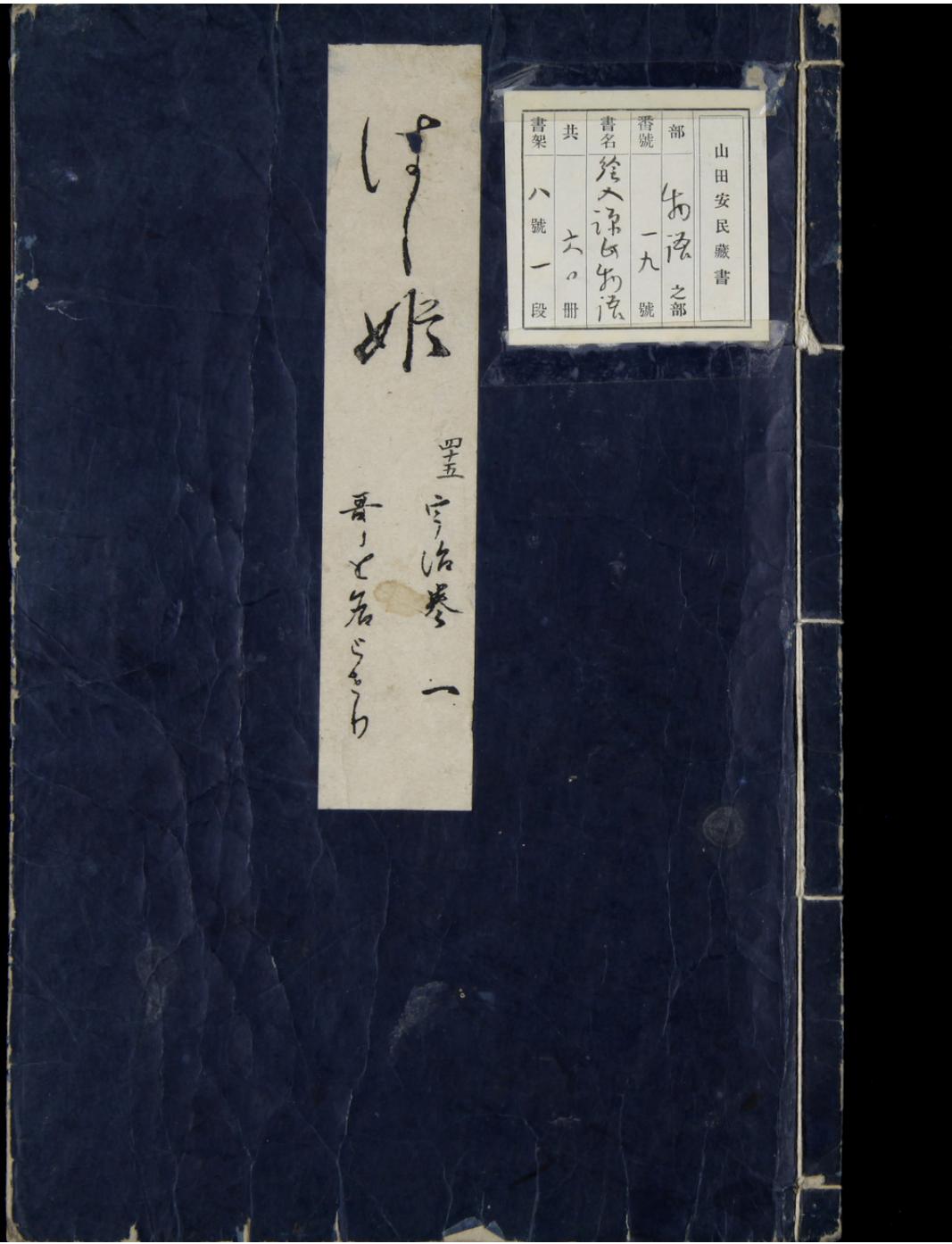


絵入源氏物語

巻四十五 はし姫

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館





ナミ
朱雀院の御子おの

高き

まをせ中よへらうてひゆくわがとよもく
づるまうけりまくす。あいとく。ほち。高の山
うつひよたん。くわくわく。れだいよ
れかづきくわく。あくせくえま
ほそく。年ばくろひじくとくらうく。
今ひうざりとくらうげをとく。とくらうく行ふ
すくはえやけく。うく。よあきま
うへうて。ひくろひすこく。あのうわくま
ううれびまくとくらうよ。あく。山ま
まくろひく。わく。まくせうれぞ

今くくすくれあんと表す。あがう。あぐの
けひく。みく。のひく。のひく。のひく。
あぐ。あぐ。あぐ。あぐ。あぐ。あぐ。
それから水のうれよも心よかく。うよ
うよく。うよく。うよく。うよく。うよく。
うよく。うよく。うよく。うよく。うよく。

ハ
人を宿もううよううよううよううよう
我のうようようようようようようよう
うようようようようようようようようよう

えぬひひそてめぐらすがよしゆうりのよとそうす。
さすがよしゆうりをうづあがむうとくげよくこの
ねまつらのじとひきあくきてあまびゆふ。
河波よもよみててまゆうひやくもあくく極樂か
のやれゆくやとぞいよしぐれば冷門ゆき
き。さうひきのあくよひせ。これ世のよ
き風ひとくへうんとくとくとくとくとくと
一のよく。じきくさくさくさくとくとくとくと
わくのよくとくとくとくとくとくとくとくと
ゆづやハーフのうどその経のすう。此院の
みどりのまよひよりあすく院内。

お六重院より御下りて。八重のゆめのゆ
まよとゆばーつぐ。それもざらとづかづれぐ
あらわきびごくさるやせゆばーうり。すののゑ
あらくみのゆめのゆまよとくにんひんぐへを
対面しておまくじやく。おまくじぞづくわう
めうがてわうのううつうと。青羽
おまくじいまゆべくわげじうちくふと青色絹
くまくらむくらむくらむくらむくらむくら
おまくじいまゆべくわげじうちくふと青色絹
おまくじいまゆべくわげじうちくふと青色絹

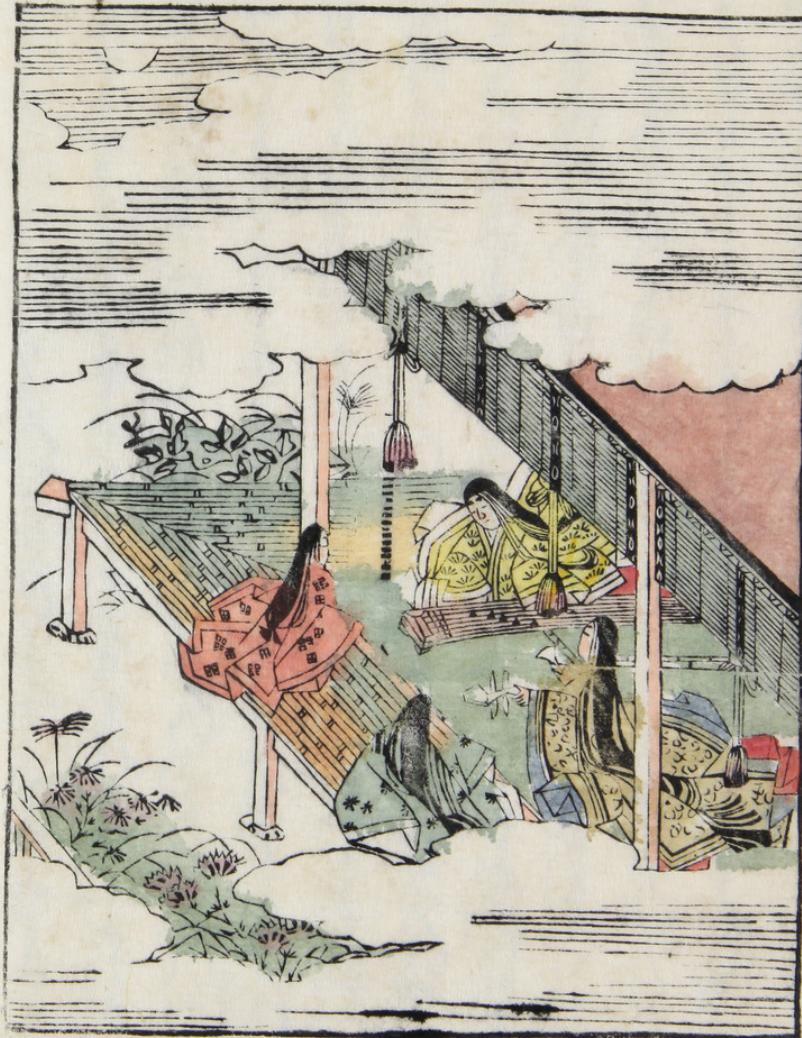
ノセタヒトハシマツル

かく、雲ともやへべつおぎうされぬつらひとせうる
くもくれど、まうねうれりうららのうびき
人のつひごよまれうらうらげよばくえんづくへ
ゆきうじびきて、あよつけうるまわるよこへて、ま
くもよかくもやー絶ぜり

めでらむのまへすひきうらぐえわ
 法へとどひせよあはれどあまうこくも
 ひじりゆうじうの僧ね僧のまへせよ
 いぬまへすよおの心をもひあつせんも
 いじくらまへすよその人うみの佛のれでの
 いじくらまへすよその人うみの佛のれでの
 やうくまへすよそらうがよせられする
 いもれまへすよかのやひとひりいとく
 うくらまへすよやうくらまへのゆげらるる
 わねごこちまへすよれゑのゆげらるる
 まへすよじくまへすよのまへすよあく
 まへすよまへすよのまへすよのまへすよ
 まへすよ佛のまへすよまへすよのまへすよ
 のまへすよまへすよまへすよのまへすよ
 まへすよまへすよまへすよまへすよ
 まへすよまへすよまへすよまへすよ
 まのまへすよまへすよまへすよまへすよ
 まへすよまへすよまへすよまへすよ
 まへすよまへすよまへすよまへすよ

河の水を飲むが、おまへも飲んでお馬の
でうらうらするやうな氣分をうけて、
まちからうなぎの身とひきかねぬまゆ
の心のこもるはんぱくとおもてなしのま
葉の音のうらうらするやうな氣分をうけ
きよびづかれてゐるやうな氣分をうけ
るがそれこそ

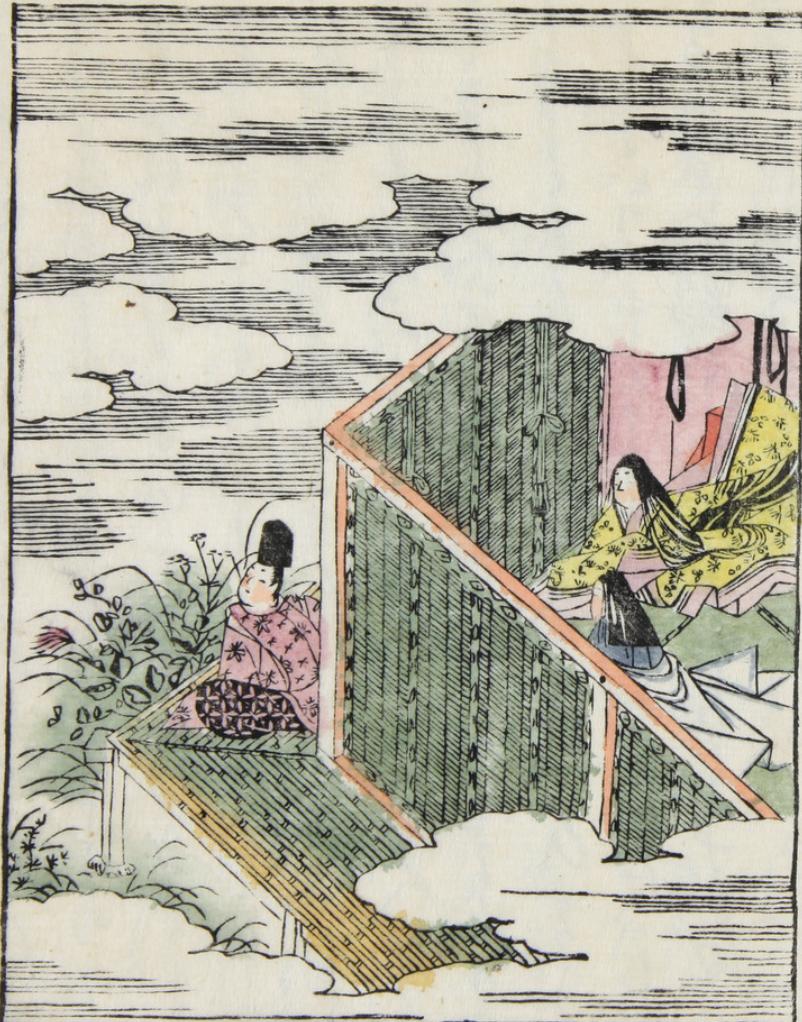
やまとからこゝのまのくわきうらわや
あくまで我をされしものとぞうすまう



まうりのすきれどもやうにゆきくもの
 うとうとむじゆを出さんとあはれとゆふ。
 わくのゆきくへいそくつげよそくやか
 のゆわんせんざれおうてまれのりゆるおはま
 ちきよよにあそびやよきてうて
 やそくのりひだりくみのとくよぶ
 うきよひだりてうてよあてよあび
 ゆきよがれとゆきよやなうきよで
 車ゆきよべくまきせりゆおりゆ
 すひよおりゆくまうけられまき
 うりくまくまくまくまくまくまく
 まくまくまくまくまくまくまく
 もやくゆくはねくもくでげとけく
 つぐとくとくとくとくとくとく
 くづくわやくくづくくまく風のまづく
 まくひゆくはれべふとくとくりふくろ
 まくまくまくまくまくまくまく
 まくまくまくまくまくまくまく
 まくのまくれればあくつまのまくあく
 まくあくまくまくまくまくまく

おりてひよるをさむへぢづきとすけり。
 それもようちうきうそくうかくすく。事す乃
 そばくうされば明ほのやうくまわくつり、
 あくよびやつこくまくらとくまくまく。あす
 ごのつまされまくらくまくら。うそくせの
 はれとくらやとあやしむくでゆうまちう。
 これがいぐくらうらうめざとがまくまくや
 あくものされだえあじのく物せのふふ
 うんつうじよううせうせうせうせうせう
 はのうくらうくらうくらうくらうくらう
 つそくくらうくらうくらうくらうくらう
 うれうれうれうれうれうれうれうれう
 うれてうれうれうれうれうれうれうれ
 えくえくえくえくえくえくえくえくえく
 すくすくへ潤あらわれとほみくくとほみ
 くくくくもくくもくくもくくもくくもくく
 くくくくとくくくくくくくくくくくく
 くくくくもくくもくくもくくもくくもくく
 のくくくくくくくくくくくくくくくくく
 わくわくわくわくわくわくわくわくわく
 金のくくくくくくくくくくくくくくくく

うれせよおうござりまくられやうん
 三茶のまよ^ミかひミノカヒおぬはくらうゆ
 けりとほのまよ^ミかひミノカヒおぬはくらうゆ
 あひのへアヒノヘかひのへカヒノヘくわせり
 せのまよ^ミかひミノカヒせう^ミくらうゆ
 そそげやをたとせのほんこれまよ^ミひ
 ゆえをうめきウメキびとう藤大納トウモロコシ^{トウモロコシ}ひ
 れぞのの^葉葉ハかうすそれやうもくち
 つうでうもくやほれへうてくらうゆ
 ともかほんすまくすくつうくらうゆ
 のくらうゆかくのくらうゆ
 くらうゆ
 くれべくかくくうをほけふよつひの
 ほどもまのやうなあんじをむか大納トウモロコシのほん
 のくらうゆもかがぬまうんゆヌマツつ
 くらうゆかくのくらうゆ
 うれぐんまくねかくのくらうゆ
 くらうゆかくのくらうゆ
 うらうゆかくのくらうゆ
 のくらうゆかくのくらうゆ



うやすのくぬをひやう人のゆか
 れうじてうけよへるゆきとくらうとくま
 ていじはめうきよううんばくうゑうく
 うげよみのれいのやくつまうげく
 大雲のゆうあまのけしと船ふりのいと
 うづくらうもすれどうじうぢうげくら
 うくらうあくとくずゑう

行くらむすへはあらすれど
 けろううぐへとある
 ケリゆりふするひへもてすらうこち
 してうくまはげぬけぬくらう
 とおののうにまくふもれて
 ときまえとばられよかへくせの人めつて
 とくとくばとよめしにわざりうりと
 うめうめんとくゑめぐらひうる
 いきとよりてうめめがるはんたけ
 うめれど木魚もとめりやあんすくぬけ
 けううううとくとくのくらうつて
 むやうと舟とよめくらうつて
 うめのうめくとよめくらうつて
 うめ水のうへよじへたれもくへじ
 じとううれれれれくらうづれはうしよじまの
 うとうまうげけりかくさくせつへとぶづけ
 うづけりておまよまよ
 行くらむすへとある
 けろううぐへとある
 ケリゆりふするひへもてすらうこち
 してうくまはげぬけぬくらう
 とおののうにまくふもれて



さくらの庭の川をさわさりの草や袖
 とくろもうん引くべくとくとくおう
 ひよきかくすまほよめすとくらうと
 くとくうりのれと車かくあうねとくとく
 まゆれば黄みぐぢうせうとくらうとくとく
 ほんはぐうすまほくべーうどのはめれう
 ぬとくじはれとく人よめきうけうとくらうとく
 しゆれうとくとくらうとく

といひべきのよれどううるうへりておほへ

うふかほひへとくまくもくらうてゆく

うのむかはりへりてみだらうげ

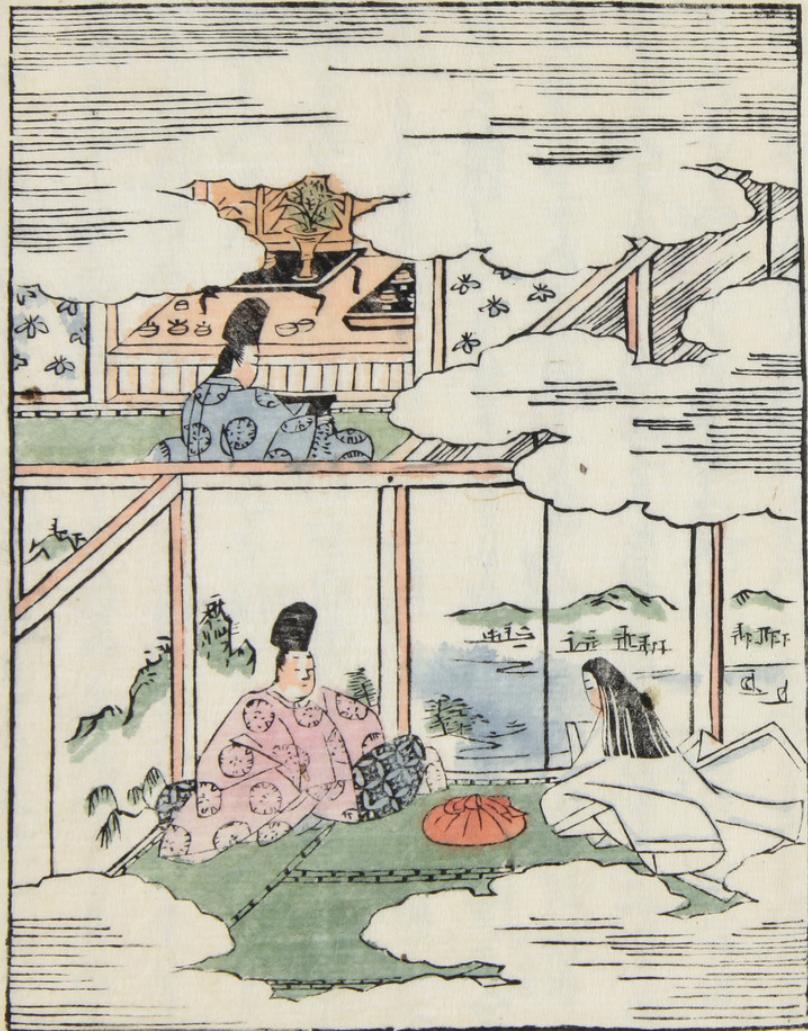
泊めてく。さすがにまことに、おぼろけの人に
かうつまげらるゝのうへりゆきを。とあら
れども、とやへうへりゆきとて、ゆうあくありぬ。
れども、とやへうへりゆきとて、とすめを。よさら
のうれきのゆどせとて、けしきに、とて
ゆきとて、おはしりや、
とせせせせせせせせせせせせせせせせせせせせせ
やうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
わうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
とく葉、
とだれうぐのはのうへすぢふじのうへ
うちおどろきれて、おれおちまよ。せきまきとて、
とくもくやすへとくもくあくもくじくじくじく
くゆうどりうり。十月よりて、六日のはじ
まへまへまへまへまへまへまへまへまへま
くとくとくゆうくとあれどほほほほほひとひよ
ゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆく
ゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆく
ゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆく
ゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆくまゆく

くれぬれば何處に歸るか。うへておまかせく
 ある文^{アラシ}の下へたまどあはれのアードを
 あはれの上^{アシナリ}すむくらうの風^{アマリ}まほほのや
 あはれの本紫のうつよと木のひだ
 うごき^{アキ}すまゆでわちそくはまかきの處
 うり。羽^{アヒ}ひふらうめんとす行^{ハシメ}るあり
 みのめぬくはれて琴のまは衰^{アタマ}てまくの内
 つりぞつさく出^{ハシメ}ておののひべ^{アヒ}鳴^{ハシメ}るもくされ
 お一^{ハシメ}明^{ヒカル}ばのゆくはぐらかまくはまくまく
 うけ候^{ハシメ}くわいのむちん中^{ハシメ}くとづが
 あはれをくわくはくはくあらそく^{アヒ}候^{ハシメ}とおはと
 うひすく一^{ハシメ}レ^{ハシメ}くとくとくとくとくとくとく
 さんとのくまくはぐらかて琴^{ハシメ}くとくとくとくとくとく
 くまくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 あはれをくわくはくはくあらそく^{アヒ}候^{ハシメ}とおはと
 うひすく一^{ハシメ}レ^{ハシメ}くとくとくとくとくとくとくとく
 さんとのくまくはぐらかて琴^{ハシメ}くとくとくとくとくとくとく
 くまくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

わざわざとお出でになりばへりされじと
 あんざひまつむじようどく人情をいふ余の程に
 ひととてくわくうちおもてまきとんじゆをうへ
 ゆうまくくわんじよだくはがくうわくそよと
 番ばーの番ばーあらひきぞまのゆきうのを番
 行はれふいへり生てあひりうひりおもか
 うもくもとまくまくせほキのまくとひり。
 年の六十ますまくのほぐされどえびく
 やへうりひまきて地をとくまゐるお宿大納言の
 売のゆくゆく地をうひつ病づきのゆく
 痛うち高とまく出てうくも限うけよまの
 人のゆへとまくまくはくうへまくまくゆく
 まくで年べねばつまくゆへうへまくうりん
 とのゆくめあと佛ももくめじくめくめく
 えくめくとわんどうつまくゆへうくや先の
 やうよゑううおうぞうとおゆくめつりでうくまく
 うくつんとおばすまくめくめくめくめく
 まくめくめくめくめくめくめくめくめくめく
 うくめくめくめくめくめくめくめくめくめく
 うくめくめくめくめくめくめくめくめくめく

うそよとへようらまのひやくよくわたくし
 うか教うめの力の恩よほれどもひるけ行柏木
 げつてまきてゆだきのづかのまを
 せよおもむくよがくらあまうてゆく
 けりまくらの中よきんじぬうわせう
 そこのひもゆくこゑくわざわざく
 そもも今よみだらううきうまくこゝのぬ
 とくのゆうううかよがくあらくゆくせく
 まゆくつらつへつへつへつへつへつへ
 つゆくつゆくつゆくつゆくつゆくつゆく
 ちよくちよくつゆくはせよかくちくと
 ちよくちよくちよくちよくちよくちよく
 ゆう今よなやまとゆくよくゆくよくよく
 とくぬ月のうらまでゆうがおらくよくよく
 とくぬ月のうらまでゆうがおらくよくよく
 はのうせぬをまうりでまうりでまうりで
 まくまくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
 ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく

されどもまことにとては、
 人のうらぎでして、
 うらの海のままで、うらをまわる
 ふきのよへりとて、その人よりこそ
 うきゆくは、たとえあらまくさんおもせの
 ちやうさんゆうの、むらさくに、これどもやい
 ちやうつりて、うきゆくは、よしや
 ば今へよせよ。
注 大きな
 冷氣流の、ぬれど、れども、よしよしと、おもてされ
 まうへつりて、まうへつりて、くわくわ
 うきゆくは、えきおき、おき、ざるの、ぢきよ
 うきゆくは、約うかり、注 遠河
 そぞの、うきゆくは、よしよし、よしよし
 うきゆくは、まのせよしよしの、よしよし今を
 うきゆくは、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし
 うきゆくは、よしよしの、よしよし、注 遠河
 うきゆくは、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし
 うきゆくは、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし
 うきゆくは、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし
 の、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし



ひくひくとすくめひづるうらでをもる。
 おまへうつすまくとくめのくせれりとくわあざ
 うりふうとのゆきとてこれふえとくわあざと
 おとせきとくわバがゆほ・えゆひみゆんつりそよ
 まくとくへあくさんとさくわべをやぐく
 別けうつむくとくわべをたあずく
 るんせひまつとくわべづれうみてこれもく
 おつぎのうのうべにんじんとくわべをやく
 こくのくよりのくわんとくわべくわべをやく
 おとせきとくわべをやく

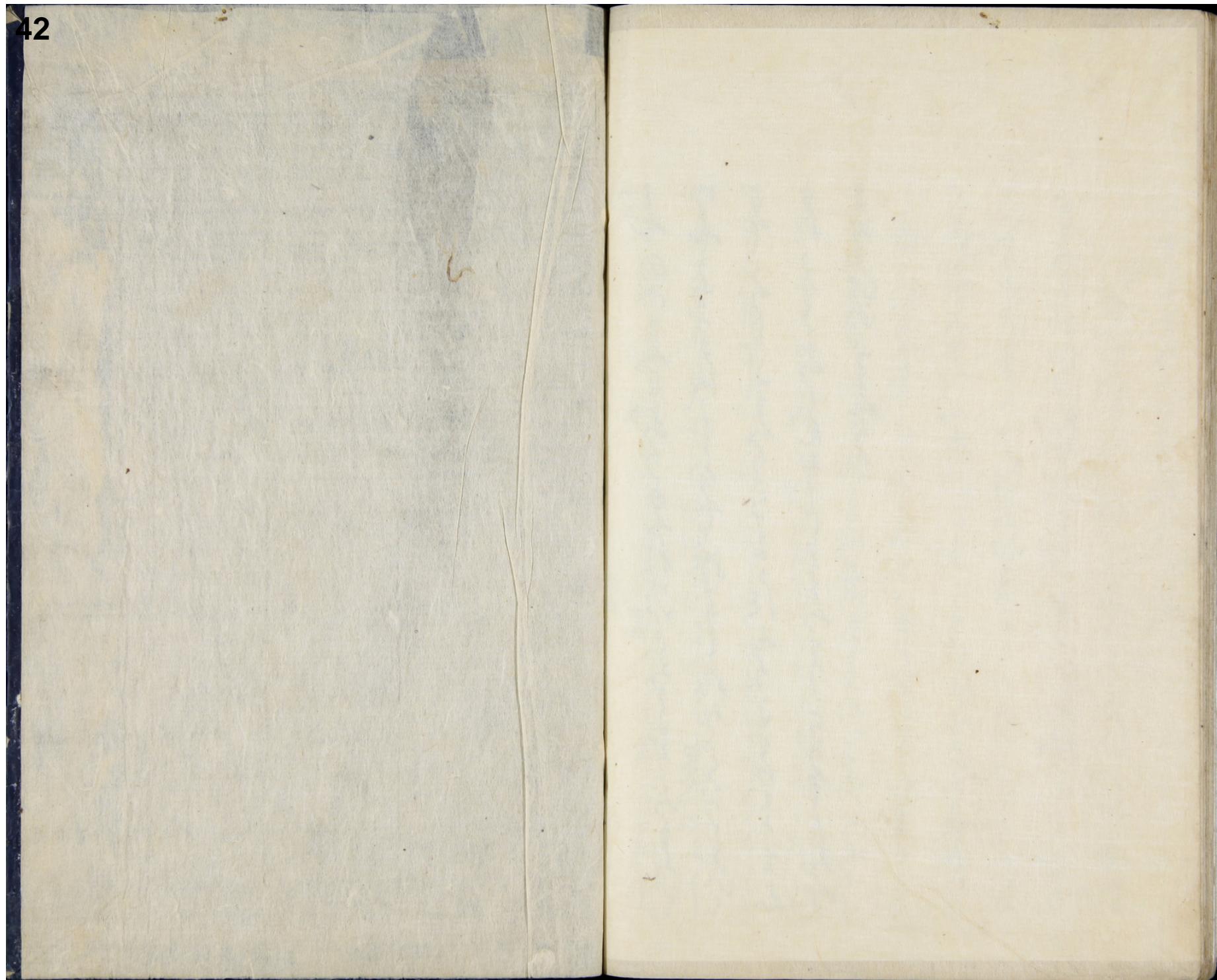
れゆうにひきとどきのひとまれ
日々のそよ下りのゆふとあき
ゆん院のゆえらやこれもひのめす
まろびれじるくはれもくはれも
それもすゞてはるの紅葉らゐみゆす
てはるの紅葉はれもくはれも
さひるよしのりもくはれもくはれも
くはれもくはれもくはれもくはれも
くはれもくはれもくはれもくはれも
くはれもくはれもくはれもくはれも
くはれもくはれもくはれもくはれも
くはれもくはれもくはれもくはれも
がそりうきくはれもくはれもくはれ
けりゆくのゆきいひじりもくはれもくはれ
れてすく病相手もくはれもくはれもくはれもくはれもくはれもくはれもくは
ゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆの
すくはれもくはれもくはれもくはれもくは
まよんがんのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆの
かれた数うつぶくはれもくはれもくは
のゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆのゆの

相
かくはれもくはれもくはれもくは
よりよりよりよりよりよりよりよ
くはれもくはれもくはれもくはれもくは
れもくはれもくはれもくはれもくはれも

ひきくらはまくわど

いのりあがむれとくへんせんとおね

よみかねのあひすみかくとくへんせんと
おね



43

